

3 March 弥生

日	月	火	水	木	金	土
令和4年京都府「ひきこもり当事者とその家族等のための将来設計支援業務」 <b>専門家による個別相談</b> <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">相談無料 (要申込)</span> 毎月第1、第3木曜日 LPW 下鴨事務所で行なっています。						
5	6 滝町さんとイラスト 下鴨レッスン	7 アートいろいろ M塾	8 My sketchbook 音楽療法	9 e&r-sports 澤ティの発達アラウンド相談	10 バンド練習 知の時間	11
12 第43回 京都福祉まつり ブラックバース 訪問演奏	13 下鴨レッスン	14 アートいろいろ M塾	15 My sketchbook 音楽療法	16 e&r-sports 澤ティの発達アラウンド相談	17 バンド練習 知の時間	18
19	20 臨床美術 下鴨レッスン	21 春分の日	22 My sketchbook 音楽療法	23 e&r-sports 澤ティの発達アラウンド相談	24 歌声喫茶(利用者のみ) 40才からの居場所	25
26	27 下鴨レッスン	28 アートいろいろ	29 My sketchbook	30 e-sports 家族の学習・相談のサロン	31 バンド練習 知の時間	

4 April 卯月

日	月	火	水	木	金	土
2023年5月4日(木・祝) 10:00～17:00 <b>法然院悲願会</b> に今年も参加させていただきます。 京都府社会参加支援事業として行なっている各プログラムの活動紹介 ①40歳からの居場所研究会 ②バンドやろうぜ ③アート展						
2	3 滝町さんとイラスト 下鴨レッスン	4 アートいろいろ M塾	5 My sketchbook 音楽療法	6 e&r-sports 澤ティの発達アラウンド相談	7 バンド練習 知の時間	8
9	10 下鴨レッスン	11 アートいろいろ M塾	12 My sketchbook 音楽療法	13 e&r-sports 澤ティの発達アラウンド相談	14 バンド練習 知の時間	15
16	17 臨床美術 下鴨レッスン	18 アートいろいろ M塾	19 My sketchbook 音楽療法	20 e&r-sports 澤ティの発達アラウンド相談	21 歌声喫茶(利用者のみ) 40才からの居場所	22
23/30	24 下鴨レッスン	25 アートいろいろ M塾	26 My sketchbook 音楽療法	27 e-sports 家族の学習・相談のサロン	28 バンド練習 知の時間	29 昭和の日



今月の絵画

「ゆれる形と色」2023年2月



油性ペンの太い細いを使って描かれたシール断片を貼り、動きある形にオイルパステルで表現しました。

臨床美術 毎月第3月曜日 担当：辻 洋子先生



“シン・LPW”をメインテーマとして「LPW@吉田の森2023」を開催しました。  
令和5年2月11日(土・祝)～13日(月)11時～17時  
カルチャーガーデン「吉田の森」



音楽部「ブラックバース」公開レッスン  
フューチャーセッション「ポストコロナ、ひきこもり支援の世界に希望が見いだせるか? (LPWを事例として)」  
紗世さんのおでん販売

「復活・ひきこもりフューチャーセッション」報告 日時：2月11日 15時～17時  
2020年以来 LPW もコロナや社会の変化に翻弄される日々が続いています。既に周辺団体の閉鎖や活動収縮が相次いでいます。ポストコロナのリアルに今すぐ向き合わなければポップディランの歌詞にあるように「泳ぎ始めないと石のように沈んでしまう」のです。活動を続けるためにはこれまで経験を活かしながらも新たな団体<シン・LPW>を設立するくらいのほどの覚悟が必要になっていきます。<シン・LPW>への建設的な提案と対話の場として8年ぶりに「ひきこもりフューチャーセッション」を開催しました。「ひきこもりと福祉」「実効性のある支援・ひきこもりと発達障害」「当事者主体の仕事づくり」の3つのテーブルに分かれ話し合い、最後にはハーベストとして各テーブルからの発表がありました。これらの意見を活かした2023年度LPW活動計画を次号で発表します。大きく生まれ変わるシン・LPWにご期待ください。



NPO法人 若者と家族のライフプランを考える会 略称(LPW)  
LPW下鴨事務所 LPWたかの分室  
〒606-0851 京都市左京区下鴨梅ノ木町7番地1 〒606-8104 京都市左京区高野竹屋町27-42  
TEL & FAX: 075-201-8073 E-mail: mypath@lpw-kyoto.org Web: https://lpw.kyoto/



LPWはアートや音楽を通して若者(ひきこもり、発達障害など)の自立と社会参加を応援しています。そんな私たちの活動を支えてください。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

賛助会員 / 寄付 一口 3,000円 PLEASE DONATE  
ゆうちょ銀行 振込口座 加入者名  
00920-9-256693 若者と家族のライフプランを考える会

ここサポ  
ルーム

## ここサポルーム便り

月・水・木・金（10時半～16時半）

ひきこもり・発達障害など社会参加に不安のある若者やご家族を対象とした地域サロン。  
（予約制：お問い合わせはTEL：075-201-8073まで）

\* 澤ティの発達ア라운드相談 毎週・木曜日 14時～16時

最終木曜日は澤 月子先生による家族サロン（学びと交流の場）を開催しています。奇数月はミニセミナー、偶数月はグループワークを行なっています。11月「発達を考える～思春期」、1月は「発達を考える～思春期大発見」、2月は対談動画を鑑賞、3月は「TEACCHプログラム50周年報告」です。新しい家族サポートの試みとして京都新聞にも取材されました。

京都市こころのサポート、交流ふれあいサロン事業 担当 河田



## フロントワーク



フロントワークのパンフレットが出来ました。企業向けとメンバー（利用者）向けの2種類があります。ご希望の方はLPWまでお申し込みください。

絵と音

## LPWアート部便り



第2回京都絵画公募展が無事終了しました。

今回はバラエティに富んだ小学生から60代まで幅広い年齢層の作品が21点集まりました。

初日には、KBS京都の取材も受け「きょうとDays」で放送されました。また最終日には、LPW音楽部“BLACK BIRDS”がライブ演奏を行ない、道ゆく人々の注目を集めていました。

お越しいただいた方々、出品された方々、様々なご協力をいただいた方々、ありがとうございました。次回は新たな展開ができればと考えております。

## 知の時間



その時々旬の話題、皆の興味があることを「知ること」の時間です。

アート・音楽だけでなく、例えば円安・インフレが話題に上がれば、為替と物価について学んだり、「最近調子悪くて寝れないんですよ...」という話題が上がれば睡眠について調べていたり、お気に入りの服の話から洗濯マーク・洗濯方法について勉強するというスタイル。

そしてアート・芸術系の活動として、できるだけ毎月一回のお出かけをしていきます。11月「京都迎賓館」、1月「日展鑑賞」、2月「京都近代美術館」に行き、3月「文化博物館」の予定です。型にはまらない、ソフトすぎるくらいソフトなプログラムです。気軽にご参加ください 担当：松井

「真理はあなたがたを自由にします」  
ヨハネの福音書8章31～47節

## LPW音楽部便り

絵と音



LPW音楽部“BLACK BIRDS”のライブ演奏が昨年秋から活発になってきました。

- 11月 法然院彼岸会、LPW POPUP STORE（はあとフレンズストア2F）
- 12月 【訪問演奏】おもちゃのクリスマス、カラフルラット
- 1月 第2回京都絵画公募展、スタジオレッスン
- 2月 シン・LPW@吉田の森 公開レッスン

ギャラリー空間での演奏も2回あり、LPWの「絵と音」を体現できる機会に恵まれました。今後もこのようなアートと音楽を同時に楽しめる活動を続けて、LPWの活動を広めていきたいと思っております。

## 2022年度（令和4年度）LPW10大ニュース（順不同）

コロナ規制緩和によるイベント再開の動き... 秋冬はイベントラッシュになりました！また、ひきこもり・発達ア rounds を対象とした役割づくり、孤立防止への活動集約の年でした。

1. ここサポ・サロン開所（京都市ここサポ・ふれあい交流サロン）4月
2. フロント・ワーク 外部からの仕事依頼も増えてきました（ギャラリー展示、訪問演奏）
3. 祇園祭大船鉦保存会のテントでうちわ販売 7月
4. 「知の時間」活動始動 4月
5. 「つながるプロジェクト（京都市社協主催）」で西京極作業所「加音」さんのトーンチャイムと音楽コラボ（10月16日・ゼスト御池）
6. バーチャル・ギャラリーを開設（8月）
7. 大学・企業とのつながりが広がる（ノートルダム女子大学プロジェクト、はあとフレンズストア事業による京セラ本社ビル販売等）
8. 京都市「孤独・孤立連携協定」締結に参加 9月
9. ボーカルも解禁となり音楽部活動本格的に再開（11月ボランティア協会フェスタ）



## 編集後記

『いちばん大切なのは、一生懸命、生活すること。一生懸命したことは、いちばん純粹なことであり、純粹であることは、もっとも美しく、尊いことです。』（「汁一菜でよい」という提案）  
土井義晴・善。ものづくりする人間は、自分の存在理由を確かめたい？生きた証をしるしたい？そんな衝動でせつせとモノ作りに励む。かくゆう当方もそのたくいではあります。一生懸命生活することが最も美しく尊いというこの言葉が、今ではしっくりと来る今日この頃です。 編集部・Jin Kusuki